二次元コードからアクセスすると最新と過去の「いたばし町連」をご覧いただだくことができます。

第324号 いたばし町連
板橋区町会連合会

地区行事のお誘い

10・11月は、スポーツや芸術の秋として、各地区で町連支部と関係機関が協力し、地区運動会やスポーツ大会、地区まつり、地域センターまつりなどの行事を開催する予定です。

これらの行事は、地域の人々が互いに知り合う大変良い機会であり、親睦・交流・連帯を深めることで、町会・自治会への加入や活動協力、子どもたちの健全な育成につながります。

ぜひ、ご家族やお知り合いの方とお誘い合わせのうえ、ご来場ください。（右表参照）





第67回 いたばし花火大会
板橋区観光協会創立50周年記念







8月1日（土）第67回「いたばし花火大会」（主催：板橋区・板橋区観光協会、協賛：板橋区町会連合会ほか）が、板橋区荒川河川敷で開催された。

都内の花火大会では、一般的に4号玉から8号玉がほとんどだが、この花火大会では、10号玉、さらに都内最大級の打ち上げ花火15号玉（尺五寸玉）が観覧できる花火大会となる。

午後7時10分、170０発を超えるワイドスターマインが華々しくオープニングを飾ると、圧巻の幕開けに会場を埋め尽くした観客から大きな歓声と拍手が沸き起こった。

1時間30分の演目の中には、日本最高峰の花火師10人による「花火の鉄人、芸術玉の競演！」や都内最大級の大玉「尺五寸玉」、子どもたちに人気のポケモン花火では、「キャプテンピカチュウ」の型物花火や尺五寸玉による巨大なモンスターボール花火が登場した。

また、今年の目玉である「板橋区観光協会創立50周年記念花火」では、ワイドスターマインから始まり、10号玉の5連発や対岸の戸田橋花火大会とのコラボレーションによる壮大な花火の競演に会場は大いに盛り上がっていた。

エンディングでは、1400発を超えるワイドスターマイン「天空のナイアガラ」から名物となっている「大仕掛　ナイアガラの滝」が披露され、対岸の戸田橋花火大会と合わせて約1万5千発の趣向を凝らした花火が真夏の夜空を彩り、会場は最後まで笑顔と歓声であふれていた。

令和8年 秋の地区行事予定表

令和8年8月8日現在　式典日時順

行事名	開催日	開催時間	式典	会場	支部
熊野地区親睦スポーツ大会	10月4日(日)	9時～16時	9時	板橋第二中学校	熊野
常盤台地区スポーツフェア	10月4日(日)	9時30分～13時	10時	上板橋体育館	常盤台
桜川地区大運動会	10月4日(日)	9時～13時	9時	桜川小学校校庭	桜川
成増童謡まつり	10月10日(土)	13時～16時30分	13時	成増アクトホール	成増
板橋地区区民大運動会	10月11日(日)	9時～13時30分	9時	金沢小学校	板橋
仲宿地区区民大運動会	10月11日(日)	10時～14時30分	10時	板橋第三中学校	仲宿
清水スポーツフェア	10月11日(日)	9時～正午頃	9時	志村第一小学校	清水
志村坂上地区スポーツ大会	10月11日(日)	9時30分～12時30分	9時30分	小豆沢体育館	志村坂上
舟渡地区大運動会	10月11日(日)	10時～15時	10時	舟渡小学校	舟渡
前野スタンプラリー	10月11日(日)	8時30分～13時00分	9時	前野全域	前野
仲町地区区民大運動会	10月12日(月･祝)	10時～13時30分	10時	板橋第二中学校	仲町
大谷口地区区民大運動会	10月12日(月･祝)	9時30分～12時	9時30分	上板橋第二中学校	大谷口
蓮根地区区民運動会	10月12日(月･祝)	10時～13時	10時	城北公園野球場	蓮根
下赤塚地区ウォークラリー	10月12日(月･祝)	9時～13時	9時	下赤塚小学校	下赤塚
富士見まつり	10月25日(日)	10時～14時	10時30分	板橋フレンドセンター校庭・体育館、富士見地域センター	富士見
大谷口地区フェスティバル	10月25日(日)	9時30分～12時30分	9時30分	上板橋第二中学校	大谷口
高島平まつり	10月25日(日)	9時45分～15時	10時	都立赤塚公園	高島平
蓮根地域センターまつり	11月8日(日)	10時～15時	10時	蓮根地域センター	蓮根
徳丸スポレク大会	11月8日(日)	9時～15時	9時	赤塚第一中学校体育館	徳丸
成増地区ウォークラリー大会	11月7日(土)	9時～13時	9時	三園小学校	成増
桜川地域センターまつり	11月15日(日)	9時～15時	9時	桜川地域センター	桜川
成増地域センターまつり	12月5日(土)	10時～16時	10時	成増アクトホール	成増

◇板橋区民まつりは、10月17日(土)・18日(日)に、グリーンホール周辺で実施されます。
◇板橋農業まつりは、11月14日(土)･15日(日)に、赤塚体育館周辺で実施されます。
※各行事の内容や参加申込み、雨天時の開催・中止決定等、詳しくは管轄の地域センターに問い合わせください。

新館（板橋区協定斎場）寝台車（営業車）24時間
株式会社 正美堂
〔本館有り〕 大村葬儀社
0120−88−5683
相談コーナー 03-3966-5683
板橋区志村3−1−16
生前予約承ります
区民葬　家族葬一式
福祉葬
都職
板橋青色申告会
郵政福祉
24時間霊安室有（冷蔵庫有り）
協定斎場2日間8万円（区内）
協定斎場2日間10万円（区外）

「いたばし町連」に広告を掲載しませんか。
奇数月1日発行（17,650部）年6回
区内全域の町会・自治会を通じて回覧しています。
＜お問合せ＞ 板橋区区民文化部地域振興課気付
板橋区町会連合会広報担当
03（3579）2163

発行　板橋区町会連合会
東京都板橋区板橋2-66-1
板橋区役所区民文化部
地域振興課気付
電話　03-3579-2163
会長　小林英子
編集　板橋区町会連合会広報部
印刷　株式会社三六工芸印刷社
東京都板橋区蓮沼町34-14
電話　03-3969-0361

町会・自治会に加入しましょう!!（町会・自治会は、地域に住む人たちが、明るく住みよい町づくりをめざして、地域におけるいろいろな問題の解決に取り組んでいる自主的団体です。）

部会報告

広報部

広報部会（鈴木孝部長）が6月10日（水）10時30分から開催された。会議は鈴木部長の司会で進められた。

議事では、まず機関紙「いたばし町連」と広報部会の概要、昨年度の部会で出された意見及び検討結果を再確認した後、協議事項の検討を行った。

はじめに、機関紙編集方針を確認しながら、321号（3月発行）及び322号（5月発行）の広報診断（事後検討）を行った。2号とも概ね2月の広報部会で協議したとおり、「二十歳のつどい」や各支部の行事等の記事を掲載した。

次に323号（7月発行）及び324号（9月発行）の編集方針・掲載項目の協議を行い、7月号では、町連定期総会、町会・自治会長の異動や各支部事業など、9月号では秋の地区行事予定や花火大会、町連の各部会報告、支部行事の記事を掲載していくこととした。

部員からは、区内の高校・大学への配付拡大や紙面のレイアウトや読みやすさの工夫、他の広報紙の研究等に関する意見があり、今後も機関紙の配付拡大とよりよい紙面の研究を続けていくこととした。

最後に、中島肇副部長の閉会の辞で終了した。


紙面の内容を検討

総務部

総務部会（井上勝部長）が7月13日（月）10時30分から開催された。会議は井上部長の司会で進められ、総務部担当の露木保文副会長の挨拶の後、議事に入った。

はじめに町会連合会の令和8年度要望事項4項目に対する区からの回答について、事務局から各項目の説明があり、検証を行った。

令和9年度町連要望事項については、本部からの要望の取りまとめ方針案が示され、内容について活発な協議が行われた。

主な意見では、最近の物価高を考慮した町会・自治会・町連への支援、地域交流アプリ「結ネット」の普及促進のための支援、自転車や電動キックボードの安全利用、水害時の避難場所、町会・自治会への加入促進支援などについて意見が出された。


町連要望を協議

これらの意見をふまえ、18支部から提出される支部要望も確認のうえ、8月20日（木）開催の次回会議において要望案をまとめることとなり、最後に手島孝温副部長の閉会の辞で終了した。

地域安全部・青少年部・環境文化部

地域安全部会（横山和彦部長）、青少年部会（熊谷福春部長）、環境文化部会（大野正浩部長）の合同部会が、7月2日（木）10時から区役所大会議室Aで開催され、20名の参加があった。

今回の合同部会は、東京都の令和8年度東京都出前講座事業を活用し、「シニア世代や子供の事故防止」をテーマに、転倒、着衣着火、熱中症、低温やけど、誤飲、誤嚥などの予防に関する講座を開催した。

はじめに小日向克昭町連副会長と大野正浩環境文化部長の挨拶があり、本題に入った。

講師は、東京都消費者啓発員の岸葉子講師。衣類や家具が原因となる転倒、調理時の着衣着火、子どもの誤飲・誤嚥の事故について具体的な説明があり、危険性についての理解が深まった。

洋服のフードやマフラーが何かに引っ掛かることで首が絞められる危険があること、丈が長い衣類が何かに引っ掛かることで転倒の原因になることなどを、講師自らがその衣類を身に着けて実演を行った。

また、最近の玩具や入浴剤はお菓子や果物そっくりの形に形成されたものが販売されており、子どもが口に入れる誤飲・誤嚥事故が増えている。くれぐれも子どもの手が届く場所には置かないことなどの注意があった。

部員からは、①住み慣れた家だからといって、安心・安全というわけではなく、普段の生活にも危険がたくさん潜んでいることを再認識した。②購入した商品やサービスにおいて何かトラブルが起きた際は、まずは近くの消費生活センターに相談するべきということを学んだ。③今回の講座で学んだ身の回りに潜む危険について、町会の役員会議等で多くの人々に周知・注意喚起をしていきたいなどの意見が出された。

最後に大戸町連副会長の閉会のあいさつで、閉会した。


事故防止講座を傾聴

女性部

女性部会（星川定子部長）が7月21日（火）10時30分から、17人の部員が参加し、開催された。会議は、女性部担当の小林英子会長が挨拶の後、議事を進行した。

はじめに、10月17日（土）の板橋区民まつりで提供する「区民おどり」について検討し、昨年と同様、曲目・回数・曲順は東京音頭（1回）、二輪草音頭（1回）、町連音頭（2回）、板橋音頭（2回）の順で、三重の輪を作って踊ることを決定した。

続いて、昨年の反省として、集合時間からおどりが始まるまでの待ち時間が長いとの意見があり、区民まつりの担当部署とも協議して、集合時間の変更を検討することとした。

また、踊りの参加者は各支部30人前後の想定で、全体で500人程度を目標にすることとしたが、支部によっておどりの参加者の集まり具合が異なるため、各支部で参加の声掛けをし、全体で調整することとした。

そして、今年の区民おどり出演参加賞を協議して選定した。

次に、女性部日帰り研修について協議をした結果、旅行会社から提案された3行程のうち、千葉県・銚子市方面の行程を選定した。日程は11月中とし、行事や会議の日を避けた日で予約がとれる日に実施することとした。

最後に、妹尾副部長による閉会の挨拶があり、閉会となった。



区民おどり出演参加賞


研修集合写真（昨年）

町会・自治会に加入しませんか

町会・自治会には、どなたでも加入できます。

日頃から地域のおまつりやスポーツ大会、防犯・防災活動などを通じて、ご近所との交流や安心安全なまちづくりを推進しています。

加入方法のご案内

町会連合会ホームページ（1面左上QRコード）、または、地域振興課へお問い合わせください（3579・2163）

都町連定期総会及び表彰式開催

東京都町会連合会定期総会が、6月18日（木）午前10時から新宿区の京王プラザホテルで開催され、小林英子会長が出席した。

初めに吉成武男会長（中野区）の挨拶があり、議事に入った。

議案として「令和7年度東京都町会連合会事業報告」「同収支決算監査報告」「令和8年度東京都町会連合会事業計画（案）」「同収支予算（案）」「同本部役員等（案）」が提出され、審議の結果、全会一致で承認された。

続いて令和8年度東京都町会連合会表彰が行われ、秋間利久新会長（八王子市）挨拶の後、来賓代表の小池百合子都知事、増子博樹都議会議長、岩崎正朔全国自治会連合会長、吉住健一特別区長会会長が祝辞を述べた。

板橋区は、田中康裕町連会計（熊野）、大野喜好大谷口支部長（大谷口）の2名が表彰され、代表して田中会計が表彰状を受け取った。


表彰式の様子


大野支部長、小林会長、田中会計（左から）

快適ライフのアドバイザー
多様化するニーズに対応するため
これからもアイデーマンは躍進していきます
IDグループ
株式会社 石井電工
tel:(03)3973-8529 fax:(03)3959-6067
電気設備設計施工　空調設備設計施工　床暖房工事
東京都板橋区南常盤台1-11-9 IDビル

～最も身近で、最も頼りにされる金融機関を目指して～
皆様のお役にたつ
東京信用金庫
板橋支店　板橋区板橋2-67-8　☎（3961）5371（代）
大山支店　板橋区大山町22-5　☎（3956）1161（代）
志村支店　板橋区小豆沢1-11-7　☎（3966）0136（代）
志村坂下支店　板橋区東坂下2-16-4　☎（3968）0481（代）
成増支店　板橋区成増1-29-7　☎（3930）7136（代）
上板橋支店　板橋区桜川3-21-11　☎（3559）1491（代）

東京23区指定清掃事業
一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
し尿浄化槽・仮設トイレ清掃業
TAISEI 太盛運輸株式会社
代表取締役　小泉雅義　東京都板橋区舟渡2－10－3
☎（3969）8196（代表）　FAX（3558）8593　ごみのことならお気軽にご相談下さい

お葬式なら　24時間365日受付
SR 自由設計セレモニー ソーレスト
フリーダイヤル 0120-6556-18
家族葬専用式場あります　お葬式セミナー毎月10日開催
有楽町線・副都心線の池袋駅から3つ目「小竹向原駅」徒歩5分・環七沿い
（本館・別館）板橋区小茂根4-25-3

成増 阿波おどり大会

成増阿波おどり大会（田中正之大会会長＝町連成増支部長）が、8月6日（木）午後5時30分から、町会連合会成増支部および青少年健全育成成増地区委員会の共催により、盛大に開催された。

昭和58年の地下鉄有楽町線の開通を機会に始まり、今年で40回目の開催となった。世代を超えた人々の地域活動への参加意欲の高さと住民同士の連帯感が感じられるこの大会は、地元成増地域から7連、「阿波おどり」で有名な高円寺から3連、渋谷区や文京区の連、板橋区役所の連も加わり、総勢13連、約570名が参加した。

午後5時30分、第1会場である成増駅南口ロータリーから、鳴り物の音も賑やかにスタートし、スキップ村商店街の大会本部前や第2・3会場、北口の輪踊り演舞場で次々と演舞が行われた。

また、午後6時30分頃には輪踊り演舞場で大会式典が行われ、田中会長の主催者挨拶、坂本健区長および田中しゅんすけ区議会議長をはじめとした来賓の挨拶と列席の来賓の紹介があった。

大会各会場では、各連が鳴り物に合わせ軽快な踊りを披露し、踊る人も見る人も暑い夏の夜を心ゆくまで楽しんでいた。


観衆が見守る中、笑顔おどり


来賓前にて輪踊り熱演

わくわく盆踊り（富士見支部）

8月8日（土）午後6時から、第9回わくわく盆踊りが板橋フレンドセンター校庭にて開催された。盆踊りは役員の高齢化などで単一町会での開催が難しくなっているが、富士見地区では4年前より管内全ての町会が参加して盛大に実施している。

日本列島には台風13号、15号の接近やゲリラ雷雨の発生など気がかりな気象状況であったが、当日は快晴で少し風のある絶好の盆踊り日和となった。

開場時間になると浴衣で着飾った子ども達が大勢来場し、ヨーヨー釣り・射的などの縁日やかき氷などの模擬店を楽しんでいた。

開会式での坂本区長のご挨拶、地元太鼓団体の勇壮なパフォーマンスの後は、いよいよ盆踊りが始まる。東京音頭、板橋音頭、北海盆唄、アンパンマン音頭と曲は進み、それに伴って来場者はどんどん増え、すれ違うのも困難なほど過去最高の人出で大盛況となった。


多くの人で賑わう会場


壇上の踊り方を見て誰でも参加

今回の盆踊りでは7月28日に発生した熊本地震の被災者を支援するため、急遽「令和8年熊本地震災害義援金」の募金箱を設置した。

結果、2万7千882円の募金が寄せられたことを報告するとともに、ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げる。



早朝から活動中！

花火大会の前に！ 荒川土手クリーン作戦

「いたばし花火大会」荒川土手の清掃を行っているものである。

を2日後に控えた7月30日（木）に、舟渡支部では「荒川土手クリーン作戦」を実施した。

今年で40回目となるこの事業は、「いたばし花火大会」に訪れる大勢のお客さまに、きれいな会場で花火を楽しんでもらいたいという「おもてなし」の気持ちから、会場となる


清掃終了、おつかれさまでした！

会、舟渡小学校の先生・児童・PTA、地元の少年野球・サッカーチーム、近隣事業所の皆さんなど80名を超える人々が3ブロックに分かれて開始した。

40分ほどの清掃活動により、最終集合地点には、インスタント食品の容器や空き缶、ペットボトルなど、90ℓゴミ袋で4袋ほどの廃棄物が舟渡の地域住民によって拾い集められ、花火大会会場をきれいにした。

夜間避難所開設訓練を実施（清水支部）

5月30日（土）午後6時から志村第三小学校において、夜間の避難所開設訓練が実施された。

坂本区長の挨拶のあと訓練開始となり、夕刻に震度6強の地震が発生し、電気、水道、電話等が使用できないという想定のもと、災害に負けないまちづくりをスローガンに、清水支部の6町会、PTA、おやじの会、志村坂上消防署、清水おとしより相談センター等、多くの参加団体から約200人が参加して行われた。






避難所開設訓練は、本部指揮班、受入調整班、応急手当班、仮設トイレ組立班、発電機・電気班、備蓄倉庫班、要支援者対応班、炊出し班、保健衛生班が役割を分担して避難所開設に取り組んだ。

訓練は、過去の大震災の事例から学びとった様々な課題に対して、各班が最初から最後まで自力で役割に取り組むこととした。

実際の体験を通じて、出来なかったことを学び合い、参加者の全員が避難所開設に協力と、連携を大事に行動することを主眼とした訓練となった。

特に仮設トイレの設置については、女性参加者を増やし、実際にD級ポンプやバケツを使ってトイレに通水するまでを訓練し、女性の視点から使用状況の確認を行った。そのほか要支援者の安否確認、バーナーを使用した非常食の炊出し、備蓄倉庫の必要備品の確認など、いずれも本番さながらの訓練となった。

今回の訓練で発見できた課題と、その改善点を地域住民で共有できたことは、発災時の避難所開設と運営に大いに意味のあるものとなった。

秋の全国交通安全運動

～世界一の交通安全都市TOKYOを目指して～

9月21日（月）～30日（水）

9月30日（水）は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

○全国重点

1　歩行者の安全確保

2　夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶

3　自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底

○地域重点

1　二輪車の交通事故防止と反射材用品の着用促進

SUGAMO SHINKIN
板橋支店　☎3961−1601
常盤台支店　☎3960−0121
志村支店　☎3960−2131
成増支店　☎3938−0151
東武練馬支店　☎3935−2111
幸町支店　☎3959−1171
板橋栄町支店　☎3961−5111
東新町支店　☎3958−8811
高島平支店　☎3937−2111
新高島平支店　☎5997−1211
小竹向原支店　☎3554−5511
喜ばれることに喜びを
巣鴨信用金庫

火葬のみ・家族葬・区民葬・一般葬全般　見積無料
不安なことがございましたら、ご相談ください。
２４時間３６５日　承ります
(有)服部葬儀社　TEL.03-3930-2328
板橋区赤塚新町1-22-4　東武東上線下赤塚駅徒歩１分

CATERING SERVICE
･･･美味しいお料理とサービス
まごころと信頼をお届けします･･･
セントラルフーズさんいち株式会社
本店：☎03(5943)5531　FAX03(5943)5532
大山店：☎03(3579)8531（板橋区立グリーンホール内）

ぶらり、いたばし
板橋区観光協会

支部ニュース

仲宿

「課題を新たな価値にして ～仲宿地区まつり～」

今年37回を数える仲宿地区まつりは、最近では開催の記録のない中根橋小学校で開催しました。

仲宿地区まつりは、管内の小学校の協力をいただき、巡回開催していますが、今回の開催校である中根橋小学校は、町会・自治会役員や青健実行委員も開催経験がなかったため、名物のミニSLや今回から新しくなった特大のふぁふぁ（すべり台）の配置を何度か実踏を行い、イメージを共有しながら再調整を重ねてきました。


名物「ふぁふぁ」に長蛇の列



被災地支援も盛況

来場者用駐輪スペースの課題についても、近隣の都立豊島病院の駐車場の一部を借りるなど、地元町会長の力添えもいただきながら、解決に向けて取り組みました。

さらに新たな被災地支援として石川県珠洲市との調整等も進め、実現できました。

そうした準備の積み重ねで当日は、昨年から準備や片付けの負担軽減を考えたテント等のレンタルも継続し、町会の負担を最小限にすることにより、おもてなしの側に専念できました。

ついつい「前のとおり」に無難に進めがちですが、課題を新たな価値へとつなげながら、伝統を大切にし、これからも地域に愛され続ける地区まつり、そして地域づくりをめざしていきます。

仲宿支部長　髙田　雄彬

桜川

祝！御所山子供会都市体験移動教室45周年（交流事業）



ようこそ！東京・板橋へ

昨年の「尾花沢林間学校」50周年に続き、今年は「御所山子供会都市体験移動教室」がめでたく45周年を迎えました。

都市体験移動教室は、昭和57年にスタートしました。当時、桜川地区の子どもたちは毎年尾花沢市を訪れる林間学校に参加していましたが、「一方通行ではない交流を実現したい」という思いから、尾花沢市商工観光課や地元の学校関係者と協議を重ね、第1回目の事業が実施されました。栗原敬三区長（当時）をはじめ、桜川地区の青少年健全育成委員や町会の皆さんが、温かく子どもたちを迎えてくださいました。

都市体験移動教室は、国立科学博物館や東京ディズニーランド、東京スカイツリーなどの見学をはじめ、いたばし花火大会の観覧や桜川地区の子どもたちとの交流を行っています。また、桜川地域センターに宿泊し、各町会女性部の皆さんが交代で食事を準備してもたちに楽しい想い出を」という思いを込めて、毎年心のこもったおもてなしを続けています。


「国立科学博物館で記念撮影」

半世紀近くにわたり続いてきたこの相互交流は、子どもたちの成長を支えるだけでなく、尾花沢市と板橋区の絆を深め、かけがえのない友好関係を育んできました。これからも、この素晴らしい交流の輪が末永く受け継がれていくことを願っています。

桜川支部長　萩原　洋一

高島平

「夏の宵の楽しみ」

今年も7月18日（土）の高島平二丁目町会を皮切りに、高島平支部管内7カ所で夏祭り大会・盆踊り大会が開催されました。今年は一部の町会では1日目に夕立にあったものの2日目には天気も回復し、親子連れからご高齢の方まで多くの人でにぎわい、踊り子たちも汗をぬぐいながら楽しそうに盆踊りを踊っていました。

高齢化などによる町会・自治会役員の担い手不足が問題となるなか、やぐら組み立てなどの大型の準備を業者に委託する町会・自治会も多く、費用負担も大きくなっていますが都の助成金を活用するなどし、また、模擬店の代わりにキッチンカーに出店をお願いしたり、新河岸地区では6つの町会・自治会が共同で実施したりと、それぞれが創意工夫して開催しています。

また近年の異常な暑さにより、高島平三丁目自治会は10月11日（日）に、高島平二丁目団地自治会は10月12日（月祝）へと、まつりの実施時期を秋に変更した自治会もありました。

これからも町会・自治会が協力して地域のだれもが安心して、楽しく暮らせるよう高島平支部が一丸となって励んでいきたいと思います。

高島平支部長　菅野　裕一


高島平七丁目町会納涼盆踊り大会

いたばしの文化財 29

今回は、江戸時代から中山道板橋宿の名所として名高い「縁切榎」を紹介します。

江戸時代、現在の縁切榎がある場所と道を挟んだ向かい側には、旗本近藤登之助の抱屋敷がありました。垣根には榎と槻の古木が寄り添うように生えていて、「えんつき」と呼ばれていましたが、これが「縁の尽き」を連想させ、のちに「縁切り」へと転じたと言われています。また、榎は、災厄を防ぐ木として古くから村や町の境界に植えられていました。当時の縁切榎は幹回り約六mに及ぶ大木で、その樹下には悪疫を防いで旅人や交通安全を守る神として信仰される大六天の小祠が祀られていました。こうした「災厄を防ぐ」という信仰が時代とともに変化し、「男女の悪縁や病との縁を切る」信仰を生んだとも言われていますが、その真相は定かではありません。

やがて「縁切り」の俗信が広まると、婚礼・嫁入りの際には「縁が短くなる」ことを恐れ、その下を通ることが忌避されるようになりました。実際に、寛延二年（一七四九）に第一〇代将軍家治へ降嫁した五十宮や文化元年（一八〇四）に第一二代将軍家慶へ降嫁した楽宮は、この榎を避けて別の道へ迂回したと言われています。また、文久元年（一八六一）に第一四代将軍家茂へ和宮が降嫁した際には「榎を菰で覆った」との伝承がありましたが、代々板橋宿中宿の名主を務めた飯田侃家の古文書により、先例に倣って迂回路が作られていたことが判明しました。それによると、そのルートは、中山道が現在の環状七号線と交差する辺りから練馬道（富士見街道）、日曜寺門前、愛染通りを経て、縁切榎の南側で中山道に戻るという道のりでした。なお、榎を菰で覆ったとする伝承は、幕府の命令「不浄なものを筵で覆うように」が誤って伝わったと考えられています。

江戸時代、男女の悪縁切りや断酒を願う際に、榎の樹皮を削り取って相手に密かに飲ませると願いが叶うとされ、明治以降は難病との縁切りや良縁成就で庶民の信仰を集めました。現在では、マスコミ等で紹介されたことで知名度は地域を越えて全国区へと拡大しました。今や日本各地から多くの人が願掛けに訪れており、「悪縁を切り、最高の良縁を結ぶパワースポット」として、時代を超えて新たな信仰と賑わいを生み出しています。

【所在地：本町一八番】


縁切榎

縁切榎

公文書館専門員　畠山　聡

町連文芸

短歌

一ノ瀬美智子選

同僚の拍手の中で閉まりたるエレベーターに花の香満ちる
大和町　新山　富弥雄

来なくてもいいと言いつつ足音に聞き耳立てる面会時間
志村　境　和代

杖つきて人に負けじと歩幅とり横断歩道頑張り渡る
清水町　大塚　トモ子

靴履けた！進化進化の二歳児よ靴履けぬ我退化のばあば
仲町　塚田　千宏

次の世も又会おうねと言えずとも君を探しに必ず行かん
仲宿　笹木　和子

俳句

板橋区俳句連盟監修

木蓮の白咲ききつて空に散る
成増　常代

清明や三線の音は青空に
三園　のぼる

たつぷりの番茶が似合ふ柏餅
成増　貴美子

看護師に聞かば葉桜なりにけり
成増　国雄

声までも父になりゆく彼岸かな
成増　道夫

少人数のご葬儀から社葬まで承ります
大正15年創業
常盤葬祭有限会社
大村葬儀社
TEL.3956-1131
24時間ご用命承ります
事務センター　板橋区南常盤台1－36－8
葬儀式場　ときわ会館　第一式場　第二式場
併設の第三ホールにて法要等も承っております

創業昭和12年、板橋と共に。
賃貸住宅経営・不動産売買・管理・設計・施工
リフォーム・お部屋探しは
代表 03-3975-6222
株式会社ナミキ　ciaociao house　板橋区成増3-12-1

誰でも気軽に集える立ち寄れる集いの場
福祉の森サロン活動を応援しています
「つながりづくり」「介護予防」「生活のメリハリ」
「閉じこもりの特効薬」「情報入手」
サロン活動は良いことといっぱい！
板橋区社会福祉協議会　福祉の森サロン担当
morimori@itabashishakyo.jp　☎03-3964-0236